

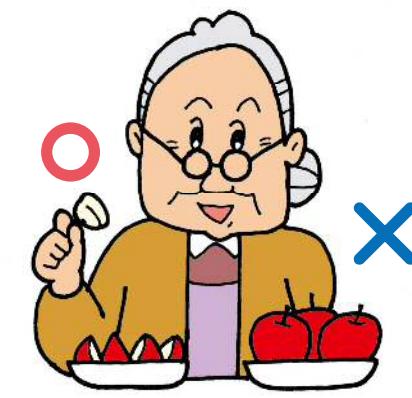
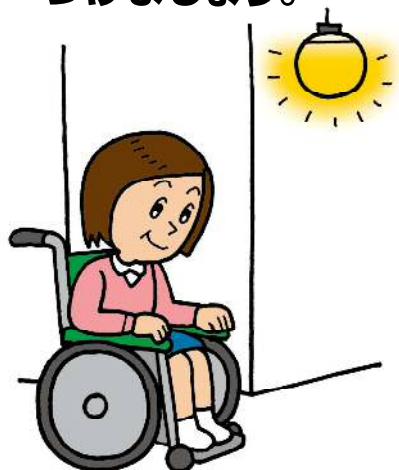
家庭内で起きる事故

日ごろから気をつけましょう

- 床の段差をなくし
ましょう。
- 寝室は1階に設け
ましょう。
- 高い所にできるだ
け物を置かないよ
うにしましょう。



- 暗い所には照明を
つけましょう。
- 浴室に手すりを
つけましょう。
- 食べ物は小さく
して食べるよう
にしましょう。



応急手当を覚えましょう

いざという時に、役に立ちます。

(内容) ケガなどの応急手当や人工呼吸・心臓マッサージなど。

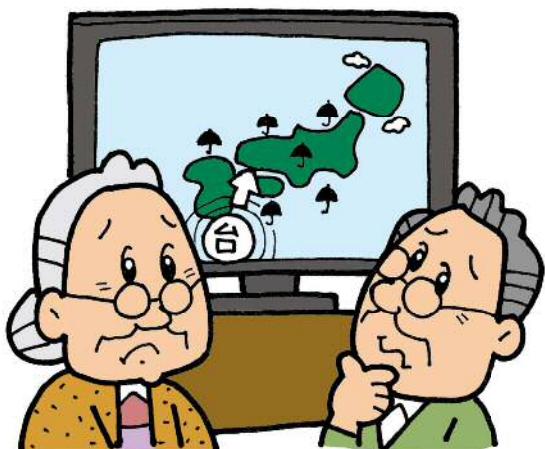
申し込み・問い合わせ先

消防局救急課 ☎582-3820

自然災害に備えよう

大雨・台風・地震

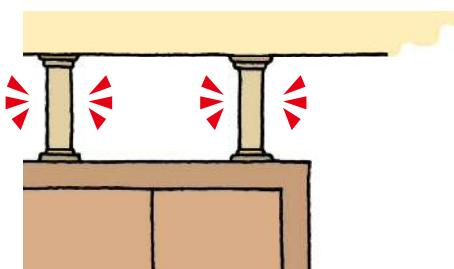
- テレビやラジオの気象や災害に関する情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。



- がけ崩れなどに注意し、早めの避難を心がけましょう。



- 家具や食器棚などを固定し、地震の揺れに備えましょう。



(注) 家具が転倒・移動すると…
負傷や火災の原因、避難の
障害になります！

非常用持ち出し品

(リュックサックなどに
入れて、準備しておく)

- 非常食・飲料水



- 常備薬（処方箋も）



- 携帯ラジオ



- 着替え



- ビニール袋



- 貴重品

財布・お金（公衆電話用に10円玉）

通帳・印鑑・保険証

- 簡易トイレ

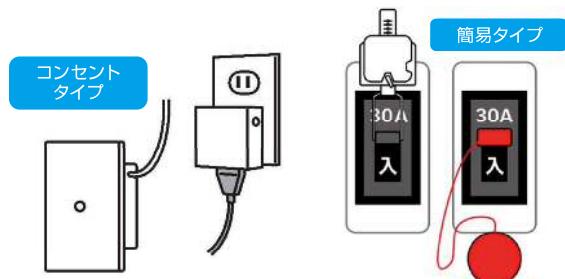
- 筆記具

- タオル・ティッシュ



1人当たり1日3リットルの
水が必要といわれています。

- 地震による電気火災を防ぐため、感震ブレーカーを設置しましょう。



※地震による揺れを感知すると
電気を遮断します。